第6回 熊谷市地域公共交通会議 議事録

日時 平成22年10月14日(木)
午後2時から3時45分まで
場所 大里庁舎 第2会議室
出席者 15名(うち代理2名)
欠席者 5名、傍聴者5名

会議議題及び結果

会議議題 平成22年度予算の補正(案) ～承認～
連携計画策定に関する業務の委託 ～承認～
連携計画策定調査について ～承認～

会議資料

①資料1 平成22年度歳入歳出補正予算(案)
②資料2 熊谷市地域公共交通総合連携計画連携計画策定調査について
③資料3 早稲田大学との協働による電動バスの試験運行について

会議経過及び発言要旨

1 開 会

2 議 事 議長 会長

(1)平成22年度予算の補正(案)について 資料1

説明 事務局

～～～資料に基づき説明～～～

減額補正について説明し、事務局でできる限り事務を行うことで経費を削減し、調査内容は変更しないことを説明。

～～～主な質疑応答～～～

●事務局で行う事務とは何か。

⇒アンケートの配布や、郵送費(アンケートの郵送回収)の予算も支出します。

●コンサルの委託額は。

⇒3,990,000円です。

(2)連携計画策定に関する業務の委託について

～～～説明～～～

連携計画策定にかかるコンサルタント会社の選定については、選定委員会の結果について説明し、選定されたランドブレイン株式会社のスタッフを紹介。

～～～主な質疑応答～～～

●ランドブレインの熊谷市での実績は

⇒景観計画の策定、中心市街地活性化計画の素案策定　に携わった。

(3)連携計画策定調査について　　資料2

ア　調査フロー及びスケジュールについて

イ　熊谷市内の公共交通に関する現状について

～～～資料に基づき説明した～～～

～～～主な質疑応答～～～

●熊谷駅利用者数 H20 年の 37,000 人の内訳は

⇒JR 熊谷駅で 31,597 人、秩父鉄道熊谷駅で 5,403 人です

●公共交通空白地区の考え方

⇒特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法(タクシー適正化・活性化法)でタクシーが公共交通として明文化されたため、公共交通が使えない空白地区は無いものと解している。

ウ　市民等の意向把握アンケートの調査結果について

・熊谷市公共交通に関する市民アンケート結果

・ゆうゆうバスに関する利用者アンケート結果

～～～資料に基づき説明～～～

●市民アンケート 3,000 人の対象者は、地区を限っているのか。

⇒地区を限っていないが、概ね人口比で分散している。

●利用者アンケート対象者数(2,500 人)が少なくなっているが理由は。

⇒実際に配布したところ 1,000 人程度であったが、ゆうゆうバス事業者にもご協力をいただき、概ね利用者に万べんなく配布できたと考えている。

●回収率(市民アンケート 41.9%、利用者アンケート 48.8%)はどのように考えているか。

⇒今回のアンケートはどちらも4割以上のため良い結果がでていると考えている。(通常の回収率は3割程度が多い。)

●アンケート結果には、回答者数の絶対値の記載が無いので分かりにくい

⇒可能な部分については絶対値を入れながら分析したい。

●市民アンケート「公共交通を維持・充実していくための方法に対する回答の『その他』」にはどんな意見があったか。

⇒現在、整理している。

●バス運転士の労働時間について、1便あたりの時間の制限はあるか。その後休憩時間は。

⇒目安として1時間以内の路線であれば、休憩は10分間を設定するようにしている。

●70歳以上の分析が欲しい(要望)

3 報　告

(1) ゆうゆうバスの江南地区の新規路線について

現在、江南自治会連合会との調整を行っている。ルートの案は、江南自治会連合会と一緒に決めていきたい。

完成した案は、今後、交通会議で議題とし審議いただきたいと考えている。

(2) 早稲田大学との協働による電動バスの試験運行について　資料3

～～～資料に基づき説明～～～

期間、ルートなどについて

～～～要望～～～

●試乗会を実施して欲しい。

(その他)

●ゆうゆうバスの市役所停留所は、道路上ではなく玄関前に欲しいところである。

4 その他

特に無し

5 閉　会